



全校集会でのプレゼント交換



カフェテリアでの給食

初めての海外

笠松中学校 3年 永井 水悠

初めての海外ということで驚くことが多くありました。

まず一番に気候の違いを感じました。日本のように四季がはっきりとせず、年中暑いという気候の中で生活も文化も当然違いました。

言葉が違うことで伝えたいことが伝えきれないことが何度もありました。その時、もっと英語がわかっていたらとすごく後悔しました。それでも自分の知識とジェスチャーなどの表現力でなんとかのりきれました。言葉はわからなくても伝える方法はあるのだと知りました。それは、どの国に行っても同じだと思うので、これから活かしていきたいです。

思った以上に大変で難しかったのは、お金の使い方です。これもまた日本と違うので慣れないことでした。単位が違ってどうやって考えればよいのかわかりませんでした。だから、お金を出すまでにすごく時間がかかってしまいました。店員さんが言ってくれる値段も何を言っているのか聞きとれなかったのが、よけいに時間がかかってしまいました。

日本というより岐阜と違ったのは、海、ビーチがとても身近であることです。山があるというのは共通していましたが、海が近いというのは大きな違いでした。そこでの体験したことは普通ではできないようなことでした。多くの自然を感じました。

このように海外で日本と違うところが多かったのですが、その中でも共通していたことがあります。それは関わった人達はみんな優しいということです。私の中で海外とはとても怖いイメージがありました。でも、私の住む笠松のように優しい人がいっぱいだと全然怖くありませんでした。違いばかりではなく、共通しているところを知ることでもできて良かったと思います。

今回の体験でグアムの良さ、違いを知ると同時に私達の住む笠松町の良さも改めて知ることができました。他の土地を知ること、自分の住む土地を知ることにつながるということが分かりました。

自分の成長

笠松中学校 1年 武藤 未憩

グアムでは、現地の生徒との交流だけでなく、買い物を自分たちで行う場面も、多々ありました。はじめは、学校で習った文も、聞き取ることができず、「どうしよう」と不安ばかりありました。それでも、「もう一度、聞き直そう」と思い、行動にうつすことができました。それは、イナラハン・ミドル・スクールの生徒との交流でも、役に立ちました。「どうせ伝わらないから、いや」という考えをするのではなく、「少しでも話してみたい」といった考えをすることができました。グアムの生徒と少しでも会話ができるとき、とてもうれしくなりました。

イナラハン・ミドル・スクールの生徒との交流のときは、ぎこちない単語で少しか話せなかったけど、目標であった、言葉だけでなく、ジェスチャーをつかった表現で、相手に伝えるということができました。相手に伝わり、よろこんでくれたとき、自分もすごくうれしくなりました。

この研修を通して、私は、言葉のちがいの壁をのりこえて、交流することができました。「少しでも話してみよう」「やってみよう」というような考えがもてるようになり、なににでも、挑戦したいと思いました。また、英語に関する意欲が高まり、自分のこれからの英語能力向上にいかしていくべきだと思いました。この研修で私は、すごく成長することができました。



日本文化の習字の紹介